

2014年度 農村計画本委員会 第1回主査・幹事会

日 時 2014年4月22日(火) 15:30～

出 席 委員長 岡田知子

幹 事 栗原伸治・北澤大佑(文責)

委 員 後藤隆太郎・佐藤栄治・重村力・三笠友洋・山崎義人

オブザーバー 野田満

1. 春季学術研究会について

(1) 開催概要

- ・ タイトル「住み続けられる農村の計画、被災地で何が必要か？」
- ・ 7月19日(土) 13時から東北工業大学一番町ロビーにて開催する。
- ・ 20日(日)に山本町の現地視察を行い、住民との意見交換を予定している。

(2) 現地視察・意見交換

- ・ 意見交換をワークショップ形式として、各大学の院生をファシリテーターとして募集したらどうか。
- ・ 各大学から1人ずつでも、次世代若手研究者の出逢いの場となる。
- ・ 意見交換の内容については、現地の復興計画の進捗とあわせて設定してはどうか。
→ 鈴木先生と相談し検討する。

2. 大会研究協議会(集落居住小委員会主催)について

(1) 開催概要

- ・ タイトル「住み継がれるカタチーフロンティアとしての農山漁村ー」
- ・ 9月13日(土) 大会2日目 13:30-17:00
- ・ 主題解説を行う講演者には了解済み。

(2) 主題解説の内容

- ・ 嵩和雄氏(NPO ふるさと回帰センター)・・・移住者を送り込むような仕事をしている立場から、ふるさと回帰の傾向について。
- ・ 西岡靖倫氏(紀美野町役場)・・・紀美野町における移住者定住促進施策について。
- ・ 大南信也氏(NPO グリーンバレー)・・・IT企業、アーティストを空き家に誘致する取組の仕掛けなどについて。
- ・ 真野洋介氏(東工大)・・・石巻の復興を支援者が空き家に住み復興支援にあたっている事例などについて。
- ・ 佐古田純子氏(NPO 集落丸山)・・・古民家再生・民宿経営、非雇用者、地元の住民の立場から地元の反応などについて。

3. 大会 PD（農山漁村文化景観小委員会主催）について
 - ・ テーマ「文化的景観のまもりかた（仮）～営みのオーセンティシティとその持続～（仮）」
 - ・ 9月12日（金）大会1日目 13:30-17:00
 - ・ サブタイトルを「営みの真実性はどのように保たれ得るのか」としてはどうか。
 - ・ 主題解説は、Paola Falini 氏（ローマ大学）、Catrini Pratihari Kubontubun 氏（Bali Kuna,世界銀行ジャカルタ）を招聘し、通訳をつける。

4. 若手審査について
 - ・ 今年度より、司会者は審査を担当しないこととし、前年度の2段階審査から1段階審査（主査・幹事等による審査のみ）とする。
 - ・ 受賞対象は、エントリーの1割を目処にする。

5. 本委員会・懇親会等
 - ・ 本委員会は12日（1日目）の昼12時から開催する。
 - ・ 懇親会は13日（2日目）に行う。

6. 環境共生小委員会
 - ・ 建築学会的な主旨で魅力的なものとしていかなければならない。
 - ・ 会員外の方を小委員会のメンバーに入れる場合には、学会の会員になってもらうことを前提とする。

7. 東日本大震災報告書
 - ・ 5月に脱稿が予定されている。
 - ・ 報告書原稿に掲載する地図は、Google map、ZENRINのものを使用しない（国土地理院の地図は問題ない）。ZENRINの購入地図も使用できない。
 - ・ 入稿している原稿のうち上記の地図を掲載している場合は、著者に戻して修正を依頼することになる。

8. その他
 - ・ 2013年度の予算消化率は94%であった、今年度も小委員会を中心に活発な研究活動を行い、予算を有効に活用する。
 - ・ 小委員会でもオンラインストレージの使用を推奨する。

以上